

さとやま **STEP-UP** 研修

「近畿における里山の資源利用と植生の変遷」

人間と自然は共生 していたの？



わたしたちの先祖はどのように自然と向き合い、戦い、利用、改変し、守り、それに対し環境は、どのように変化してきたのでしょうか。

古代より大都市圏であった近畿では、様々な技による自然資源の持続可能な利用がある一方で、その立地故の過剰な収奪による枯渇、破綻の歴史もありました。

今わたしたちが保全を目的として相対する里山、その多様な生物相に至るストーリーを辿り、「賢明な利活用」の道を探ります。

○ 講師：佐久間 大輔さん（大阪市立自然史博物館 主任学芸員）

専門の菌類や二次林植物群集（里山植生）の研究から、民俗学、生態学両面より里山利用と生物の関係解明にアプローチしている。著書に「里山の自然」（分担執筆、保育社 1997）、「考えるキノコ摩訶不思議ワールド」（監修・分担執筆、INAX 出版 2008）、「シリーズ 日本列島の三万五千年—人と自然の環境史 全 6 巻」（分担執筆、文一総合出版 2011）など。

2012 年 3 月 6 日（火）

午後 6 時 30 分～9 時 00 分

○ 場所：大阪産業創造館・研修室 E（大阪市中央区本町 1-4-5 tel 06-6264-9800(代)）

地下鉄堺筋線・堺筋本町駅 12 号出口から東へ徒歩 5 分・東警察署斜め向かい

○ 募集：50 名 ○ 参加費：500 円

○ 氏名・住所・所属・連絡先（電話番号・FAX 番号・E-mail 等）記入の上、

E-mail、FAX、ハガキにて下記宛お申し込みください

〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13-202

社団法人 大阪自然環境保全協会・里山委員会／ステップ・アップ研修係

TEL 06-6242-8720 FAX 06-6881-8103 E-mail office@nature.or.jp

主催：大阪自然環境保全協会・里山委員会